

農場通信 E棟

【発行元】

イノチオホールディングス株式会社
 営農支援部営農支援課 支援チーム

TEL:0531-23-3391
<http://www.inochio.co.jp/>

ミニトマト品種比較試験

現状

4月に入り夜間外気温が高く、夜間ハウス内温度を下げにくくなり、昼夜のハウス内温度の差がつけにくくなってきています。日射量、気温の上昇で光合成促進による植物体吸収水分量が多くなる為、灌水不足にならないよう灌水量を増やし、排液率40%前後の管理をしています。培地内を乾かし過ぎるとカルシウム吸収を抑制し、※**尻腐れの原因**にもなるので灌水量を多くしています。※蒸散が盛んになる環境(高温・乾燥)・培地水分不足時、植物の代謝が早い時(高温時)に発生しやすい。灌水が多いことで果実裂果率増加に影響が出てきています。CF千果は他の品種に比べ灌水量の影響を受けやすいようです。
灌水量: 3月(850~1100cc/株/日)、4月(1100~1700cc/株/日)

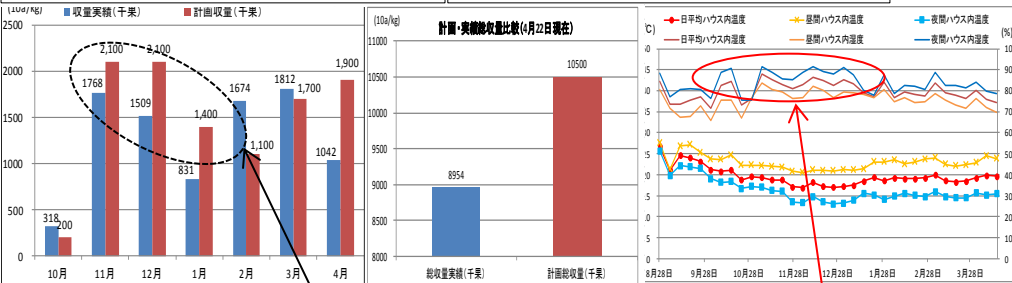
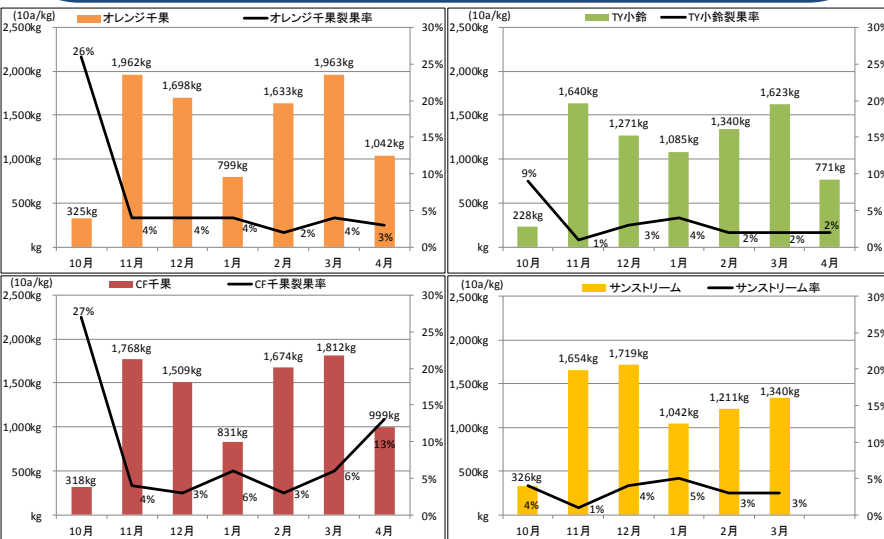
栽培概要

作物	ミニトマト
品種	オレンジ千果・CF千果 TY小鈴・サンストリーム
台木	スパイク
定植日	2015年8月26日
使用肥料	ゴシキ処方
栽培方式	ココフィールド 培地: Euro+15cm
設備	アクアビート(灌水制御盤) 日射コントローラー (住化農業資材製制御盤)

栽培管理 (4月21日現在)

給液EC	2.3ms/cm
灌水量	タイマー灌水200cc/株 (↑開始時1回目) 日射灌水100cc/株/回 (日射量毎1100kJ/cm ²)
灌水時間	7:00-14:00
灌水回数	17~22回
日平均温度	19.7℃

4/22現在



今月でE棟試験を終了します。11月~1月はハウス内温度を高めるため締めきった管理をしてしまい、高湿度になりまく蒸散が出来ず生育(根張りなど)影響が出て11月~1月の収穫が落ち込んでしまったと思います。その分2、3月に計画より収量を伸ばす予定でしたが、生育状況をうまく改善できず予想以上に伸びることもなく、収量が落ちてしまっている状況です。同じ環境下で栽培していると、TY小鈴は栄養成長傾向でどんどん樹勢が強くなっていました。CF千果は水管理の影響を受けやすいように感じました。他の品種に比べ初めの灌水管理が大切で、なかなか根張りが良くならない印象です。サンストリームは節間が長くなり、なかなか下部に光が当たらず着色が進まず収穫の回転が鈍く感じました。

